

東亜電気工業株式会社 様

経費関連承認手続きの電子決裁化、キャッシュレスにより、
業務の効率化を実現！



卸売業

業務効率化

決算早期化

ワークフロー

会社概要

- 会社名
東亜電気工業株式会社
- 所在地
東京都千代田区外神田5丁目1番4号
- 事業内容
電気・電子材料および部品の卸売業
- 従業員数
400名
- 年商
506億円（平成21年2月期）
- URL
<http://www.toadenki.co.jp/>

POWER EGG利用環境

- 導入時期
2003年1月
- 製品バージョン
POWER EGG2.0
※2009年8月Ver1.6よりバージョンアップ
- ライセンス数
500ライセンス

【取材にご協力いただいた皆様】

- ・経営管理本部長 常務取締役
深作 陽一 様
- ・経理部 次長
鈴木 由彦 様
- ・経理部 次長
横地 俊典 様
- ・経理部 経理課 課長代理
矢澤 正樹 様

経費精算ワークフロー導入前までの課題

経理業務の非効率～経理担当の手間がかかって仕方ない状態～

以前は各支店・営業所毎に現金管理を行い、各社員が経費精算伝票を提出して、そのつど経理部員が現金を渡して精算していた。しかし、これでは経理担当の手間がかかって仕方ない。

POWER EGG検討の背景

カスタマイズなしで従来と同じ経費精算が可能、更なる効率化へ

こうした状態を脱却するために、同社ではPOWER EGG Ver1.6導入時、自社仕様にカスタマイズされた経費精算システムを構築し、運用していた。いっぽう通常の業務処理ではPOWER EGG Ver1.6のワークフローを利用していた。しかし、そのPOWER EGG Ver1.6をPOWER EGG2.0にバージョンアップするとなると、それに伴い従来の経費精算システムも再構築が必要になる。又、それには相応の費用と時間もかかる。新たな会計ソフトを導入することも検討されたが、やはりそれにも多大な費用がかかり、しかも従来と同様の処理が可能かどうか保証の限りではない。ところがPOWER EGG2.0には標準の経費精算ワークフローがあり、それを選択購入すれば、とくに経費精算システムの再構築をすることなく、従来と同じ経費精算処理が可能になる。それどころか、POWER EGG2.0への移行とセットで更なる効率化も期待できる。またこの先、POWER EGG2.0をさらにバージョンアップすることになっても、経費精算ワークフローは標準機能だからシステム再構築の心配はもういらない。システムの変更に伴う、経費精算業務の遅滞もない。それなら問題なし、ということで従来の経費精算システムから、新たにPOWER EGG2.0の経費精算ワークフローへの切替が行われた。

POWER EGG導入後の効果

1. 自動仕訳による効率化

POWER EGG移行後の効果

- 経費精算承認手続きの電子化に伴い、仕訳伝票が不要になり仕訳業務が自動化され経理担当の手間が削減。いまでは、精算者（営業担当）が勘定科目を意識せず入力できるようになった。当然ミスが減るし、経理担当の業務効率もアップしている。
- POWER EGG2.0の検索性が向上したことも、経費精算ワークフローを回しやすくしている。なぜなら、精算申請があった際に、過去稟議の検索がしやすいので、申請から決裁までの期間が短縮される。つまり、経理からの支払いが早くなる。これは一般社員にとって大歓迎である。

2. 月次決算の迅速化につながる電子会議室活用

POWER EGG移行後の効果

- 同社の場合は、もともと月次決算が早い。というのもPOWER EGG2.0の電子会議室を利用して“責任者フォーラム”というユニークな仕組みが築かれているからである。

●【経営管理担当役員のご評価】

電子会議室“責任者フォーラム”は月次決算を早期化させる下支えに！

“責任者フォーラム”について、
経営管理本部長の 深作 陽一 常務取締役は、次のように語る。

「“責任者フォーラム”に参加義務があるのは、国内の営業所長クラスや本社の次長クラス以上の幹部社員33人、そして海外現地法人の責任者12名です。つまり月次決算のカギを握る幹部社員45人が対象です」

「かれらは当然毎月、売上と利益の目標設定を行い、それを目標通りに達成する責任がある。しかし、現実にはそうそう目標通りの数字を出すのは難しい。そこで、一種の《反省会・言い訳の場》として、この“責任者フォーラム”が設けられています」

「たとえば目標と達成数字に10%以上の狂いがあったら、かれらにはこの“責任者フォーラム”で『なぜそうなったのか？』を説明（コメント）することが求められる。目標を10%以上上下回った場合だけでなく、10%以上上回った場合も同様です。要はかれらには、目標管理能力が求められているのです」

「この“責任者フォーラム”、もちろん社長や役員も全員参加して、幹部社員のコメント（言い訳）をチェックします。何もコメントがない時などは、社長から『何か言うことはないのか！』と叱咤コメントが入ることもありますよ。この“責任者フォーラム”が、当社の月次決算を早期化させる下支えになっていますね」



経営管理本部長・常務取締役
深作 陽一 様

●【経理担当のご評価】

支店や営業所など拠点での経理担当の作業が減りました。

「支店や営業所など拠点の経理担当による現金の取扱が減りました。作業は集計・確認だけですから、安心で手間が減り、統制上も心配ない。いままでは月に1回、各拠点に送金していましたが、その頻度も減り、資金効率という点からも望ましいですね」

(向かって右) 経理部・次長 横地 俊典 様
(向かって左) 経理部経理課・課長代理 矢澤 正樹 様



今後のPOWER EGG活用について



経理部・次長
鈴木 由彦 様

海外法人との連携に活かしていきたい

「POWER EGG2.0の稼働によって、海外現地法人との連携がスムーズになりました。海外現地の通信インフラ事情の影響は受けますが、それでも以前に比べ通達類は瞬時に回りますし、稟議決裁も早くなりました。

電子会議室“責任者フォーラム”にしても、海外現地法人の責任者が参加するから意味があります。当社のように拠点が多地域に分散している会社では、プラットフォーム的な役割を持つシステムとしてPOWER EGG2.0を活かす場がますます広がると思います」



ディサークル株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1

住友不動産千代田ファーストウイング

TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069

<http://www.d-circle.com/>

取り扱いパートナー

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。

※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。